

宮川少年野球部 V2



07年春以来2回目の優勝に歓喜する宮川少年野球部

関西団地軟式少年野球 第96回中央決勝大会

準決勝2試合、決勝が行われ、宮川少年野球部が北花田タイガースを9-5で下し、11年半ぶり2回目の優勝を決めた。また、4年生以下で行われる「第27回ジュニア選手権大会」(デイリー後援)の決勝も行われ、美木多イーグルスが初優勝した。

△決勝
宮川少年野球部(兵庫) 20016 59
北花田タイガース(南大阪) 31010 59
(五回時間切れ)
(宮城野原) 平田・梅木蓮
(北花田) 高橋・山口・齋川
▽三塁打 大谷(北)
▽二塁打 平田(宮)
▽一塁打 村岡(宮)

最終回6点奪う大逆転

発させた。宮川少年野球部が、最終回に6点を奪う大逆転劇で07年春以来となる2回目のV。初回途中から登板した平田は「諦めた方が負けと思った。最後まで諦めずにつけていこう」と頬を緩めた。

1死満塁の好機を作ると、グラウンドが広いから常に次の塁を狙っていると思

主催 デイリースポーツ、関西団地軟式少年野球連盟、少年野球連盟、URコミュニティ内外ゴム、オリックス野球クラブ、協同乳業
後援 協賛



決勝のホームを踏み喜ぶ宮川少年野球部・梅木蓮

つていたと、二塁走者・平田が投手の暴投で一気にホームインし、一塁にホームインした。続いて、三塁に送球ミスの間に一気にホームにかえり、決勝点を挙げた。岡田主将も「パスボールのときに積極的にいけるようになってきている」と、春からの成長が実戦で出た形となった。

機動力を発揮できるのはチームが伝統的に行ってきた「勉強会」

春は勝利まであと1人からの逆転負けで4強。「相当悔しそうだった」と指揮官。春に味わった悔し涙を糧にした宮川ナインには、最高の笑顔が咲き誇った。

△準決勝
北花田タイガース(南大阪) 00300001 04
山田地ファイターズ(東大阪) 00000000 0
(北) 奥田 齋川 (山) 宮本 幹平

山田地ファイターズ
・多胡主将「ヒットが打たなくて相手のヒットチャーを崩せなかった。もっとボールを待って、しっかりよく見てたら打ち崩せてたかも！」

△準決勝
宮川少年野球部(兵庫) 104001 16
中もずシャークス(南大阪) 000010 16
(宮城野原) 村岡・梅木蓮
(北花田) 高橋・山口・齋川
▽三塁打 平田(宮)
▽二塁打 梅木蓮(宮)

中もずシャークス
・奥谷主将「試合の入り方がダメで、声も全然出てなくて、6年になってから最悪の試合だった。もっとファーストストライクからいかな

「今日は打てなかつたが、チームのみんなが引っ張ってくれた」

迷感を受けたが、チームと監督が頑張ってくれた」

千里丘イーグルス(北大阪)	5-2
桃山台少年野球部(泉北)	9-5
交野イーグルス(東大阪)	※3-3
北花田タイガース(南大阪)	4-0
晴美台タイガース(泉北)	11-2
竹城台少年野球クラブ(泉北)	6-2
山田地ファイターズ(東大阪)	7-0
学園ブルーウェーブ(兵庫)	9-5
中もずシャークス(南大阪)	10-3
英彰パープルキッズ(南大阪)	9-2
アミティエ大阪(北大阪)	7-1
KSCくずはスポーツ少年団(東大阪)	6-1
箕面モンキーズ(北大阪)	6-3
平岡ジャガーズ(泉北)	9-6
宮川少年野球部(兵庫)	9-2
美木多イーグルス(泉北)	※は抽選勝ち

安100212000
打322223331
川】田邊田中 榎本達
木原 岡原 木
平梅田村 藤嶋梅
【宮16
040060640
207安100201100200
打22213333201
【北花田】岡田谷口川 野林健野香
花森奥大山 榎井世大武芝護
11692884
0400606100884
227
【北花田】打401001001
443333033212
宮田上藤野川野中口林
大奥森井武藤豊田山大
0100444006069
278安000001000
打32222233321
【山田池】新田本甲田 田原
山多 榎山吉徳松松後
000010000078
212安1200100000
打313233322
川】田邊田中 榎本達
大原 岡原 木
平梅田村 藤嶋梅
【宮561
04006060000
194安010000000
打23333100321
【中】榎林権石田中野藤尾
も東小西力吉竹藤河吉藤
中11695555
0400606140034
162

あと2人…北花田タイガー悔し準V

大会No.1打線

初優勝は目の前だった。最終回。あと2人からの逆転負け。北花田タイガーラインは試合後、力なく立ち尽くしかなかった。

終盤まで主導権は握っていた。初回に2点を奪われるも大谷の適時三塁打や、瀬川の右前適時打などで逆転。二回には「方向は違っただけ、ホームランを



イメージしたと、武藤が右中間に運ぶランニング本塁打で追加点を挙げたが、守備のほ
北花田打線は間違いなく今大会No.1だった。4試合で33安打21得点。平日は公園で軍手に紙テープを巻いたものをボール代わりに、ティー打撃などに取り組み打撃を強化。自慢の打線だっただけに「優勝するぞという気持ちしかなかった」と瀬川。準Vにも悔し涙で一杯だった。

▽ジュニア決勝	美木多イグルス(東北) 15107
交野イグルス(東大区)	01012
(美)長村・佐藤悠(宮)	山崎一糸
▽二塁打	久保(美)

先制後の二回。先頭・久保が「本塁打を狙ってフルスイングでいったらレフトを越えた」と満足の二塁打でチャンスメイク。その後、中川の2点適時打などで一挙5点を奪い試合を決めた。中川が、「チームの良さは、いつも元気なところ」と話すように、笑顔満開で頂点に立った。

安100121111	打3333221122	多】本川村松保土圭堤勇	木は中長佐久西北佐青	【美あしあわあああああああ
208安11110100000	打333333211010	【文野】遠藤川林辺 本由 晴山	山安風大健 松後 白根	【中】